

本日、新緑芽吹く古江台中学校に、夢と希望を抱いて入学されます、第五十期生百三十四名の新生

の皆さん、入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんの入学を心から喜んでおります。

皆さんは、本校創立五十周年目の記念すべき新入生です。また、今年度から中学校の学習指導要領が完全実施となり、当に時代の変わり目をこれから生きていくこととなります。

さて、皆さんは、これから始まる中学校生活を、どのように過ごすかと、思いを巡らせていることと思います。そこで、古江台中学校での3年間で、より充実したものになるよう、次の3つの事をお願いします。

1つ目は、『互いを認め合い、高め合える集団を目指してください。』

『多様性』という言葉聞いたことがあると思います。皆さん一人ひとり物事の感じ方や考え方は違うはずですが、これからの学校生活で、考え方や感じ方の違いがあった時は、まずじっくりと相手の意見を聞くことから始めてください。

皆さん一人ひとりがかけがえのない存在だという事を認識し合い、お互いの意見の良い所を認め合うことで、よりクオリティの高い考え方が創り上げられる『質の高い集団』に育っていかれることを期待しています。

2つ目は、『元氣な挨拶ができる人になってください。』

挨拶はコミュニケーションの第一歩です。コロナ禍の現在、人との接触が減ってきている今だからこそ、コミュニケーション力が大切です。お互いの目と目を合わせて会釈を交わすだけでも気持ちの良いものです。最初は恥ずかしいかもしれませんが、先輩達を見習ってください、多くの先輩達は、朝だけでなく校舎内で何度違ってもしっかりと挨拶ができています。先輩達の良いところはどんどん真似をしていってください。そして和やかな集団を作っていきましょう。

3つ目は、『答えは教えてもらうものではなく、自分で探す3年間にしてください』

新学習指導要領でも、『主体的・対話的で深い学び』が謳われています。また、GIGAスクール構想として一人一台のパソコンも使い、皆さんの学習環境が大きく変化しています。社会情勢もコロナ禍、今までは違う働き方など、変化のスピードが加速しています。また、人工知能AIの急速な発達、脱炭素社会の実現等、産業構造が大きく変化していくことも予想されています。このような正解のないこれからの社会で皆さんが活躍していくためにも、皆さんが主体となって学び、答えは与えられるものではなく、自分で探しだす練習をしてください。そして、既存の考え方に囚われない、柔軟な発想力で、様々な課題に前向きに取り組む姿勢を育んでください。

以上、3つの事を実践し、質の高い集団に育ってください。

ところで中学校は、教科担任制で、クラス担任だけでなく、教科毎に先生が変わります。はじめは戸惑う事もあるでしょうが、困ったときはクラス担任や教科担当の先生に遠慮無く相談してください。どの先生も快く相談に乗ってくださいますので、安心してください。

また、中学校には部活動があります。運動クラブや文化クラブがありますので、自分にあつたクラブに入部して、心も体も鍛えていって欲しいと願っています。

保護者の皆様、お子様のご入学、おめでとうございます。また、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止策といたしまして、各ご家庭お一人の参列とさせていただきます。ご理解・ご協力賜り感謝申し上げます。

本日よりお子様を、古江台中学校の生徒としてお預かりいたします。教職員一同も含め、『ワンチーム 古中』を目指して、生徒たちの『生きる力』を育んでまいりたいと考えております。そのためにも、学校と保護者の皆様が同じ方向を目指し、協力しあう事が何よりも大切です。お子様の、教育に関わる悩みや疑問を持たれた場合には、どうか遠慮無くご相談ください。簡単には解決できないことも、多いかも知れませんが、望ましい方策を一緒に考えていきたいと考えております。よろしく願っています。

なお、コロナウイルス感染症の感染状況次第で、新たな動きや急な対応が生じた場合、本校はメール配信サービス「マモルメ」及び学校ホームページにてお知らせしております。大阪は医療緊急事態宣言が一両日中にも発令されるとの事です。長期戦になっておりますが、今後も検温等感染症対策にご協力いただくとともに、万が一急な予定変更が生じる事も有るかと思いますが、その節はご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

五十期生の皆さん、中学校での三年間は心も身体も大きく成長していく大切な時期です。この古江台中学校で様々な『学び』を経験することで、『質の高い集団』に育っていかれることを期待して、甚だ簡単ではございますが、私の式辞とさせていただきます。



令和三年四月八日

吹田市立古江台中学校 校長 森田 直樹

